



SSKS

# ストロークグループニュース

No. 44  
2016. JUN

## CONTENTS

- ・ NPO法人ストローク会  
平成27年度第1回理事会を開催 1 P
- ・ ストローク・サービス近況報告 1 P
- ・ みんな力を持っている！  
～働く障がい者の現状を  
取材して感じた事～ 2 P
- ・ “健康な食生活”で活発に話し合う  
～第27回「あなたとTALKING」～ 3 P
- ・ 「ここ・からギャラリー」作品展示  
佐々木淑行さん 3 P
- ・ ストロークグループ紹介 4 P



## ストローク・サービス近況報告

清々しい新緑の季節が足早に過ぎ、ストローク・サービスにとっては、早くも近付いてくる夏に向けての対策を講じる時期となりました。今年も猛暑と聞きますので、熱中症から身を守り、全パートナー職員共々、無事に夏を乗り越えたいと思っています。

### ◆就労継続支援A型事業所としての賃金

ストローク・サービスは就労継続支援A型事業所として、現在所属する25名のパートナーの皆さんに東京都の最低賃金、またはそれ以上の時給を保障しています。

## NPO法人ストローク会

### 平成27年度第1回理事会を開催

NPO法人ストローク会は、平成28年3月24日(木)、平成27年度第1回理事会を開催し、平成28年度の事業計画案とそれに伴う活動予算案について話し合い、事業計画案、活動予算案はともに満場一致で承認・可決されました。

平成28年度事業計画では、就労継続支援A型事業を中心に、従来行ってきた精神障がい者の自立と啓発を促進する事業を行うこととしました。

とりわけA型事業所においては、慢性化しているマンパワー不足の解消が喫緊の課題となっていることから、新規の職員の採用・育成に注力していくとともに、パートナー支援の質的向上のため各職員の役割を明確にし、個々にかかる負担を軽減することを目指していきます。また、福祉サービス第三者評価の受審を控えていることから、事業所の今後のあるべき方向性を見定める一年となります。

なお、平成28年度の活動予算は、法人全体の事業費が8,200万円規模となります。

就労のスタートは最低賃金からで、各々の実力や成長に応じて、適宜昇給を行っています。現在最低賃金以上のパートナーは8名で、中には1,000円を超える方も出ています。

私たち職員は、仕事で努力した成果が給料という目に見える形で返ってくることが、パートナーの仕事の向上心に繋がると考えています。これからもパートナーの時給を上げていくために、パートナーと職員が一丸となって、清掃業に励んでいきます。

### ◆1人が一般就労へ

昨年ストローク・サービスから、一人のパートナーが、初めて一般就労に繋がりました。就労継続支援A

型事業所となつてから4年目のことでした。就労後も順調で、8ヵ月が経過しました。

職員はご本人主体の関わり過ぎない支援を心がけていますので、ご本人から要望があるまでは、関係者と情報を共有しながら見守っています。ご本人が事務所に来たときには、職場での不安やストレスなどを、話をじっくりと聞くことで、気持ちがすっきりと軽くなるようにサポートしています。

今後もストローク・サービスは、利用を終えたパートナーの悩みや不安を受け止められる場として、ご本人の仕事継続を支えていきます。

#### ◆業務連絡会

昨年の10月17日(土)18:30より、参加者35名(パートナー、職員、関係者)による業務連絡会を開催しました。ストローク・サービスでパートナー全員が集まる貴重な時間です。

内容は、私たちと同じビル清掃を職業とし、それに真摯に向き合い、極め、日本一の技術を持つまでになった女性のノンフィクションの上映会でした。人間的に大きく成長していく姿を追った作品でもあり、50分という長さにも関わらず、全員が見事な集中力で映像に見入っていました。

上映後のグループワークでは4つに分かれ、様々な感想や意見を出し合い、グループごとに発表しました。この女性の清掃に向かう姿勢や考え方に感銘を受け、清掃のプロとしての視点などに衝撃を受けたとの感想が多く語られました。「心を込めて清掃しないといけない」「一生懸命やったことがいずれ自分に返ってくる」「明日から現場で活かしたい」「プロ意識とはこういうものか」などの声が、とても良い刺激になったことを窺わせました。

業務連絡会の後は懇親会を開き、いつもはなかなか会えないパートナーを含め、仲間同士で親睦を深めました。

#### ◆事務所にウォーターサーバーを設置



ストローク・サービスでは今年の2月にウォーターサーバーが設置され、皆さんの飲みものが豊富になりました。好きなものがセルフサービスで飲めるようになりましたので、ストローク・サービスにお寄りの際は、ぜひお試しください。(小林知世)

## みんな力を持っている!

~働く障がい者の現状を取材して感じた事~

公益財団法人ヤマト福祉財団は、障がい者の就労支援に成果をあげている事業所や団体に対して小倉昌雄賞を授与されています。

ストローク会は、ヤマト福祉財団の依頼を受けて表彰された事業所や団体等で働く障がい者の実情や日常生活など、障がいを持ちながらも自立に向けてしっかりと歩んでいる姿を、DVDに収める仕事を行っています。

収録したDVDは、ヤマト福祉財団が毎年全国数か所で開催している、障がい者の就労支援のための団体等の責任者や指導者を対象にした「パワーアップホーラム」で視聴されます。

障がいを持ちながらも、自分に合った仕事に取り組み、自分で働いたお金で暮らし方を考え、実践している姿の映像は、助成金に依存しがちな事業所運営からの脱却を促すヒントを与えています。

●北海道で酪農に関わっているメンバーさんは、早朝の牛の放牧の担当、牛舎の掃除係、搾乳係、チーズ作り係など、



働く人の意向を踏まえて仕事を割り当てています。

責任者が病で暫く入院する事になり、不在中に牧場の牛が死んでしまうのではないかと心配しましたが、退院してみると牛は元気で、良いミルクを搾れており、指導者が居なくても立派に仕事をこなせる力がある事を再認識したそうです。そのあとの担当決めは、グループの自己管理に任せるようになりました。そして良いミルクは良質のチーズを生み、国際コンクールでも入賞しました。担当者は働きがいがあり、生きがいになっていると、目を輝かせていました。

取材したどの事業所でも、責任者、指導者が障がい者それぞれの持ち味を活かし、働く力を信じ同じ目線で共に働き、地域から頼りにされ、地域に必要な事業所へと脱皮し、だれしも平等で共に生きる社会創りの役割を果たしています。『誰でも、みんな働く力を持っている』取材で実感したことでした。(小張和俊)

## 第27回「あなたとTALKING」

### “健康な食生活”で活発に話し合う

2016年2月5日、豊島区のカフェふれあいで、「第27回あなたとTALKING」が開かれました。今回は節約と健康についてと、安くて栄養のある“もやしレシピ”についてがテーマでした。

前半は、豊芯会の百合野さんの講演でした。百合野さんは、ご自身の脂質異常症の経験から食の改善に取り組んだことを話してくれました。

カラダ作りのために、①野菜を多くとる ②糖質オフの生活を心がける ③朝食は必ず取る、などをした結果、3年ほどで体調は良くなり、今ではすこぶる健康体になったそうです。

後半は、カフェふれあいの皆さんが作ってくれたもやし料理の試食をしながら、6～7人に分かれてのグループ討論をしました。

和風、中華味、いろいろなもやし料理をバイキング形式で食べました。私はもやしピザが一番おいしかったと思います。



討論では最初から活発に意見が出され、みんなが自分の思うことを話せることができたなと思います。

私自身の悩みである「夜中、薬を飲んだ後、おなかがすいている訳でもないのに、何か食べたくて仕方なくなる、食べないと眠れない」ということを話した時に、他のメンバーの人達が、「私もそうだ」「私も」と似たような体験を話してくれました。「薬のせい?」とも言われましたが、もしかしたら薬のせいかもしれません。

障害があっても、体が健康ならば、生活の質を向上させ、家事、就労、趣味など、行動の範囲を広げ、豊かな生活を送ることができるようになると思います。

今回は、企画委員として参加させていただきましたが、次回もみんなで楽しく、会が開けたらと思います。(小島友子)

## 社会福祉法人 結の会

### 「ここ・からギャラリー」作品展示

『利用者の方の作品などを展示しませんか?』ふらっと新宿東戸山店の担当者から連絡をいただいた時、すぐに佐々木淑行さんの絵が頭に浮かびました。ニュースレターでも挿絵を描いている彼は、以前から風景画や人物画を描きためていました。本人の了解を得て平成27年11月頃から準備開始。展示のイメージを作る段階では額の貸与や運搬等、(財)新宿区勤労者・仕事支援センターの温かいご協力をいただきました。『東京の春』『東京点描』『働く人』と題して水彩画20点を、平成28年3月4月の2ヵ月間展示しました。(友利)



『新宿ここ・から広場内ふらっと新宿東戸山店』で、わたしの絵画が展示されました。休日、余暇を利用して描き上げた作品です。こうして日々制作に励む事はわたしの大きなよこびです。拙(つたない)作品ですが、御覧いただいて嬉しいです。(淑行)



『サンプラザ前にて』



(社福) 結の会

★平成元年4月、(株)ストロークを支える会として発足した「ストローク会」は平成13年6月、NPO法人格を取得し、会の活動に賛同して下さる方々の会費とご寄付によって活動を開始、広く「精神障がい者」の「自立」と「社会参加」を図るための支援事業を行っています。

平成24年度からは「就労継続支援A型事業所」「ストローク・サービス」を開所しました。その他の事業として精神障がい者の就労・生活に関する支援、ニュースの発行、清掃技術指導員の派遣、就労に関する調査、あなたとTALKING、日曜サロン、“つどい”等を実施しています。

★会員数：賛助会員103人、正社員10人、団体3。

法人本部／ストローク・サービス：

〒161-0031 東京都新宿区西落合2-20-16

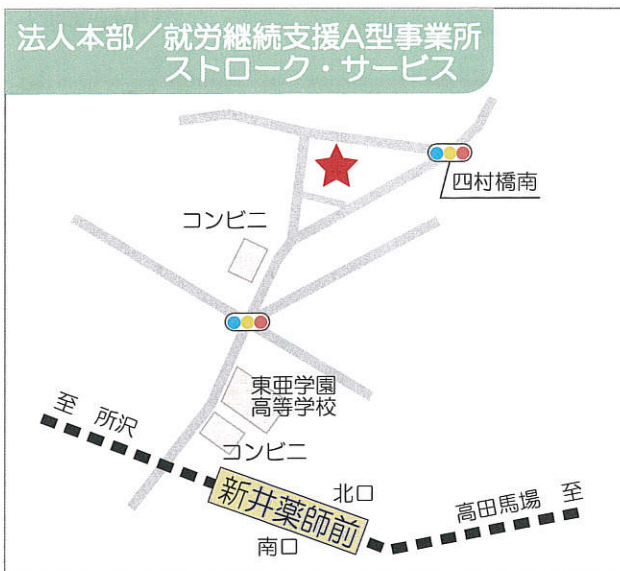
POEMビル1F

TEL:03-5996-9533/FAX03-3954-1130

高田馬場事務所：

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-23-13-102

TEL:03-3362-4170/FAX:03-3362-9377



発行人：障害者団体定期刊行物協会  
東京都世田谷区祖師谷3-1-17  
編集人：NPO法人ストローク会  
〒161-0031 東京都新宿区西落合2-20-16  
POEMビル1F  
E-mail:info@stroke.jp  
URL:http://stroke-kai.jimdo.com/  
編集・執筆：金子、菊地、熊谷、小林、小張  
榊原、佐藤、友利、広瀬、村木  
定 価：100円

★オフィスクローバー(就労継続支援B型事業所)一般企業での就労及び期限付きの就労移行支援の利用では自信が持てない人に働く場を提供し知識及び能力向上のために必要な訓練を行います。

## 〈作業の目的と意義〉 オフィス クローバーが大事にしていること

### 1. 作業の目的

安心できる場で、「共に働く」ことを通して、利用者が自らの力をつけ、望む暮らしを実現することへとつなげていく。

### 2. 目的を踏まえたうえで 大事にしていきたいこと

#### 〈安心できる場で〉の意味

- 利用者のペースを大事にする
- 利用者の体調を把握する
- 職員が最終責任を負う

#### 〈「共に働く」ことを通して〉の意味

- 利用者も職員もオフィスクローバーの一員であることを忘れない
- 苦楽を共にし一緒に達成感を得る過程を大事にする
- 作業を通し共に社会に参加している実感を得られることを大事にする

#### 〈利用者が自らの力をつけ〉の意味

- 利用者の主体性を尊重する
- 社会性を身につける機会とする  
(コミュニケーション能力、責任感、生活面)
- 利用者ができることを増やす  
(得手不得手を知る、気力・体力・集中力をつける)
- 自分の力量を知る機会とする
- 体調管理を促す

#### 〈望む暮らしを実現することへと つなげていく〉の意味

- 生活のハリへとつなげていく  
(収入を得る、やりがいを持つ)
- 働くイメージを持ってもらう
- 人生の具体的な目標が持てる

〒169-0075  
新宿区高田馬場3-18-25 第一康洋ビル7階  
TEL:03-3365-4177/FAX:03-3365-4178  
E-mail:yuinokai@axel.ocn.ne.jp  
URL:http://www.yuinokai-clover.com